公益財団法人 千葉市文化振興財団

1 団体概要

設立年月日	昭和48年2月13日	出資・出捐状況	20,000 千円 （うち市 20,000 千円 100.0% ）
設立目的	千葉市にふさわしい文化を総合的に振興して、市民文化の向上、地域文化の振興、男女共同参画社会の形成促進に資する事業を展開し、もっていきいきとした個性豊かな市民文化の形成に寄与することを目的とする。		
所在地	千葉市中央区中央2丁目5番1号		
代表者	理事長 曽我辺 穣		
所管課	市民局生活文化スポーツ部文化振興課		

2 組織状況

（令和5年4月1日現在） （単位：人）

		常勤	非常勤	計
役員（監事含む）		2 (1)	7	9 (1)
	うち市OB	2 (1)	0	2 (1)
	うち市派遣	0		
職員		28		
	うちプロパー	28		
	うち市OB	0		
	うち市派遣	0		
計		30		

※常勤役員と常勤職員とを兼務している者については、常勤役員数にのみ計上し、その人数（内数）を括弧書で記載している。

3 財務状況

（単位：円）

	R2年度	R3年度	R4年度
総収入（A）	673,904,729	669,445,277	677,935,198
総支出（B）	670,164,113	666,234,802	681,500,255
当期収支（A－B）	3,740,616	3,210,475	▲ 3,565,057
総資産（C）	618,010,882	676,900,261	653,103,418
負債（D）	474,605,966	530,284,870	510,053,084
正味財産合計（C－D）	143,404,916	146,615,391	143,050,334
市補助金	32,956,115	31,637,780	33,339,676
市委託料	557,531,071	523,702,813	499,567,000

職員平均年齢	48.0 歳	職員平均給与（年額）	7,203,328 円	役員平均報酬等額（年額）	5,138,267 円

※常勤職員（市派遣を除く）の平均　　※常勤役員についての平均

4 実施事業

（単位：円、％）

主要事業	区分	事業内容	事業費※	市支出額	依存率
千葉市文化センター管理事業	受託公益	施設管理、貸出及び文化事業	272,588,405	200,941,000	73.7
千葉市民会館管理事業	受託公益	施設管理、貸出及び文化事業	241,031,256	162,270,000	67.3
千葉市男女共同参画センター管理事業	受託公益	施設管理及び男女共同参画事業	128,068,354	136,356,000	100.0
地域文化活性事業	自/受公益	ベイサイドジャズ千葉	22,150,752	17,698,952	79.9
こども若者文化支援事業	自/受公益	こどもミュージックプロムナード等	9,188,429	9,078,429	98.8

※R4年度決算額

指定管理者として管理する公の施設	・千葉市民会館 ・千葉市文化センター ・千葉市男女共同参画センター

情報公開	HPアドレス	https://www.f-cp.jp			
	公開情報	■ 定款・寄付行為	■ 役員名簿	■ 財務状況	□ 経営改善計画

5 評価指標(共通指標)

（単位：％）

	評価指標	R2年度	R3年度	R4年度
自立性	補助金依存率	4.9	4.7	4.9
	受託事業収入率	82.7	78.2	73.7
	自主事業比率	1.2	0.4	0.5
効率性	人件費比率	46.0	46.3	44.2
	管理費比率	3.3	3.5	3.9
安全性	自己資本比率	23.2	21.7	21.9
	流動比率	209.8	170.0	164.5
	固定長期適合率	75.8	77.3	76.4

6　活動指標(個別指標)

活動指標	R2年度	R3年度	R4年度	備考
文化施設利用者数（人）	171,431	279,808	335,898	R2～R4年度は新型コロナによる減少
文化施設利用料金収入（円）	67,099,804	105,210,780	113,735,556	R2～R4年度は新型コロナによる減少
文化事業入場料等収入（円）	4,657,490	7,413,116	10,071,914	R2～R4年度は新型コロナによる減少
賛助会員数（人）	279	187	193	

7　経営改善計画

計画期間	H　28　年度　～　R　6　年度
経営方針	①文化の魅力を知り、享受できるよう積極的、計画的に事業展開し、千葉市の魅力を高める。 ②男女の別なく尊重・対等な立場で参画機会が確保され責任を分かち合う社会の実現を目指す。 ③世界に通用する個性豊かな文化を市民と協働で創造し、千葉市の活力を高める。 ④多様化複雑化する市民のニーズを的確に捉え、市民の満足度を高めるサービスに努める。 ⑤経営基盤を強化し、効率的・効果的な財団経営に努めて自主自立を目指す。
経営課題	①組織・人事 ・非正規職員の活用と職員採用のあり方を確立する。 ②事業 ・社会情勢や時代の変化に対応し、将来を見据えた長期的な事業展開を図る。 ・寄附金を拡充する。 ・文化力を高めるため、継続的な人材を育成を行う。 ・男女共同参画を推進するため、総合的な事業展開を行う。 ・男女共同参画に関する活動の支援、協働と連携を図る。 ③財政 ・特定資産や余裕財産の運用を見直す。

＜取組項目＞

取組項目		平成28年度策定の計画			特記事項
		取組前（H28年度）	目標（R6年度）	現状（R4年度）	
経営の効率化					
	対象年齢別事業の実施	実施	実施	実施	
	参加・体験型事業の実施	実施	実施	実施	
	人材育成事業の実施	実施	実施	実施	
	多様な協働・連携事業の実施	実施	実施	実施	
	アーティストバンク登録者を活用した事業実施	実施	実施	実施	
	男女共同参画社会形成のための事業実施	実施	実施	実施	
	ホームページの見直し、広報体制の拡充	未実施	実施	実施	
	施設の新たな割引料金制の導入	未実施	実施	実施	
組織・運営体制					
	常勤役員定数の削減	3人	2人	2人	
	法令順守に関する関連法令の整備・研修	実施	実施	実施	
	個人情報保護に関する研修実施	実施	実施	実施	
	危機管理マニュアルの徹底	実施	実施	実施	
	環境マネージメントの運用	実施	実施	実施	
	市民サービスの拡充	実施	実施	実施	
人事・給与制度					
	新人事考課制度の導入	未実施	実施	実施	
	職員研修制度の整備	実施	実施	実施	
	定年退職職員の再雇用化	実施	実施	実施	
	有期雇用・非常勤職員の活用	実施	実施	実施	
団体の資金運用					
	資産運用基準の制定・運用	未実施	実施	実施	
経営改善計画の策定					
	スケジュール策定	未実施	実施	検討中	

８　外郭団体による評価

取組項目に関する評価	（1）経営の効率化 ①文化を創造する人材の育成 　子どもに舞台芸術活動のきっかけ作りを提供する「キッズフェスタ」を実施したほか、次世代の文化芸術活動を担う子どもや若者たちを支援するため、「子どもダンスワークショップ」、「学生向け衣装制作＆ヘアメイク講座」を実施した。 ②文化芸術活動を支える人材の育成 　文化イベントを企画する市民の育成を図るため、市民企画を募り、審査で選定した企画を実施する「スタートアップ・チャレンジ」を行った。 ③文化芸術活動への支援 　市民の文化芸術活動の活性化を図るため、本格的な舞台機構の中での練習を体験する「ホールで思いっきり練習してみよう」を実施したほか、アーティストバンクちば登録アーティストの活動を支援するため、市内のイベント等への出演依頼に対する紹介、斡旋を行った。 　また、「よろず相談」として、文化活動を行っている団体や個人の舞台公演、イベントなどの文化芸術に関する相談に対応した。 （2）組織・運営体制 　全国公益法人協会の講習会を受講するなど、継続的に法令順守の徹底を図るよう努めた。 （3）人事・給与制度 　全国公立文化施設協会、千葉市外郭団体等連絡協議会等の研修に参加し、団体の特性を保持し高めていくために必要な職員の資質向上に取り組んだ。また、人事考課制度により、職員の能力や勤務実績等を評価し、その成果を給与処遇に反映することで職員の勤労意欲を高めることに努めた。 （4）団体の資金運用 　資産管理運用基準に基づき、安全性の確保を第一に資金運用を行った。 （5）経営改善計画の策定 　平成28年度策定の経営改善計画を延長し、引き続き実施した。
総合評価	経営の効率化、組織・運営体制の改善、施設の改修・整備を行うとともに、様々な年齢層を対象として多彩な文化芸術行事を開催し、公益目的事業の推進に努めることができた。引き続き、千葉市の文化行政を補完、代替、支援し、個性豊かな市民文化の形成を目指す。
今後の方針	経営改善計画に沿って取組みを進めるとともに、第2次千葉市文化芸術振興計画を柱とした事業展開を行っていく。

９　所管局による評価

取組項目に関する評価	（1）経営の効率化 コロナ禍においてオンライン形式での創造活動のきっかけ作りに努めたこと、文化芸術活動を支える人材育成や活動機会の提供に努めたことなど、さまざまな世代の市民文化の向上、地域文化の振興の推進に努めた姿勢は評価できる。 外部委託の実施や市民との協働など、事業の実施方法の見直しによる効率化を図ることや、団体の経営改善に資する自主事業や収益事業の展開を進められたい。 （2）組織・運営体制 講習会への参加を通じ、継続的に適切な体制を構築していることは評価できる。 （3）人事・給与制度 研修参加による職員の資質向上に努めたり、人事考課制度により職員の勤労意欲を高める取り組みは評価できる。 事業実施に効果的な情報収集を積極的に実施するなど、団体の経営改善に資する自主事業の企画立案に寄与する人材育成に取り組まれたい。 （4）団体の資金運用 資金運用基準に基づき、安全かつ確実な資金運用を行っていることは評価できる。 （5）経営改善計画の策定 第3次経営改善計画に基づき、各項目について着実に取り組んでいることは評価できる。 市民ニーズや市の施策を踏まえ、団体の設立目的を実現する上で問題となる経営上の課題等を整理し、次期経営改善計画を適時、適切に修正されたい。
総合評価	経営改善計画に定められた各取組項目が概ね着実に実施されており、計画どおりに進められている。 　文化振興財団が長年に亘り培ったノウハウを活かしながら、設立目的を達成するため継続的に実施している取り組みに加え、社会情勢の変化に応じた事業の実施や、市民ニーズを踏まえた積極的な事業展開に期待する。
今後の方針	経営の更なる効率化に向け、以下の項目について継続的に取り組まれたい。 ・職員の平均年齢や人件費率が高いことから、団体の規模、事業内容等を踏まえた組織体制の構築、および人材の流動化を促進されたい。 ・団体の経営改善に資する自主事業や収益事業の展開を進められたい。